

ハイキング部だより

第160回

平成29年(2017年)2月11日(土)～

尼崎の寺町と貯金箱博物館を巡るウォーキング

コース：尼崎駅～大物川緑地能舞台～大物駅～アルカイクホール～庄下川沿い～熊野神社～出屋敷駅～寺町～世界の貯金箱博物館～尼崎駅(約8キロ)

参加者 19名

雨のため延期していた第160回ハイキングを「建国の日」の2月11日(土)実施しました。参加者19名。石田さんが横断幕を作ってくれました。曇と雪マークの出ている天気予報でしたが晴のウォーキング日和となってくれました。

尼崎駅に久しぶりの人がきていました。佐々木さんです。総会の写真を渡すためにわざわざ来てくれました。元気でしたが歩くのはまだのようで帰られました。

尼崎駅を出発してすぐの所に尼崎城跡がありました。尼崎は、古くから京と西国を結ぶ港湾都市として栄えました。尼崎城は、1617年近江から戸田氏鉄が五万石の城主になってやってきて2代将軍秀忠の命で尼崎城を築城しました。ところで、みどり電化の創業者が10億円もの私財を投じて天守閣を再現するそうです。2018年8月完成予定とのことですが楽しみです。大物駅につながる緑地公園には珍しく野外の能舞台がありました。舞台といっても土の台があるだけです。毎年秋にはここで薪能が催うされるようです。

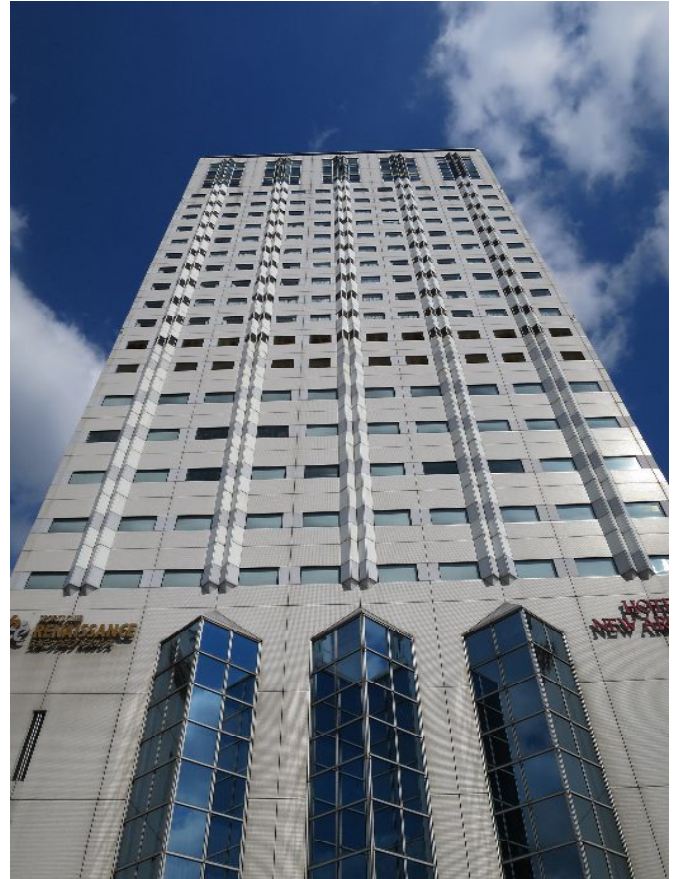
そのあとアルカイクホールに立ち寄り、庄下川沿いの公園で昼食をとり、熊野神社の梅林を見て出屋敷駅に向かい、いくつもの寺が並ぶ寺町に到着しました。寺町は、城主戸田氏鉄が城下町を建設するにあたり散在していた寺院を城の西に当る現在のところに集めてつくりました。真宗、禅宗、日蓮宗など各宗派の寺が並びいずれも立派なものばかりでした。尼崎信用金庫の「世界の貯金箱博物館」は、日本、アジア、アメリカ、ヨーロッパなど世界62か国の貯金箱を約13000点収蔵展示しています。珍しいもの、よく見かけるものいろいろあって楽しませてくれました。見学記念に貯金箱のお土産を頂きました。そのあと阪神尼崎駅付近で反省会をし、次回「枚岡梅林」での再会を約して解散しました。





熊野神社

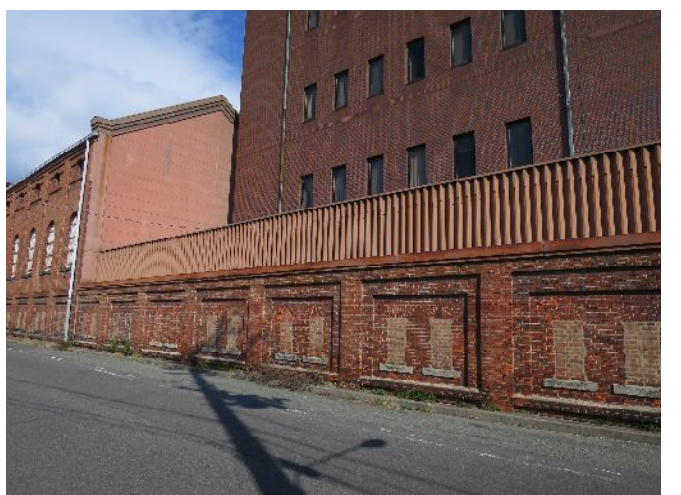




都ホテル ニューアルカイク



アルカイクホール



契沖 (けいちゅう) 生誕の比定地



大物川緑地能舞台





熊野神社



世界の貯金箱博物館



第160ハイキングは下記の計画で実施しました

～ 尼崎の寺町と貯金箱博物館を巡るウォーキング ～

日 時： 平成29年2月11日(土) 10時 阪神「尼崎駅」集合

コース：

尼崎駅～大物川緑地能舞台～大物駅～アルカイクホール～庄下川沿い～熊野神社～出屋敷駅～寺町～世界の貯金箱博物館～尼崎駅(約8キロ)

今回は、11もの寺が並ぶ寺町と世界の貯金箱が展示されている博物館を巡るウォーキングです。鶏冠山の予定でしたが、積雪のため変更したものです。

寺町は、1618年尼崎城築城のとき市内に分散する寺をこの地区に集中してできた町で現在は11の寺が並んでいます。

「世界の貯金箱博物館」は、尼崎信用金庫が大正10年に創業した当時の本店を改修し昭和59年4月にオープン、日本を含む世界各国の貯金箱を展示、一般公開しています。2015年(平成27年)3月時点で約13000点に及ぶ世界の貯金箱コレクションを有し、その中から約2500点が常時展示されています。

(参考)

能楽「船弁慶」ゆかりの地、大物川緑地能舞台

大物川は、かつて大物浦と呼ばれた入り江で、源頼朝に追われた義経が静御前に別れを告げて船出をした場所とされています。これを描いた能楽「船弁慶」にちなんだ行事として毎年薪能が開催されます。

